

北見でも統一行動



アベ政治を許さない市民パレードが6月19日に行われました。このパレードは「安保関連法に反対するママの会@北見」の呼びかけで開催され、日頃より深く関わりのある北見民商の方から参加の要請がありました。全体で40名以上が参加し、いつもの北見デモとは違うコース(サンライフから国道に出て、メッセの前を通り南大通りへ)を晴天の中で歩きました。

パレードの案内がイベント直前にあり、広く組合員に呼びかけることができませんでした。網走教組北見支部から大坪、山本が参加しました。前日に行われるはずでしたが雨天で中止になった「えがお署名」もこの機会に行い、参加者ほぼ全員から集めることができました。

路上へのアピールは最近流行り(?)のノリの良いラップ調で、もはや若くはない参加者2名は口が回らず、タジタジになりながらも必死についていこうと努力しました(笑)



(文責 山本)

網走教組では、「あなたの願いで組合をつくる! 網走教組二〇一六 願いプロジェクト」を実施しました。このプロジェクトは、今回の参院選に向けて、組合員からの要求を集めその要求と、全教・道教組の考えや各政党の公約とを比較し、それを組合員に知らせ、投票や選挙行動に生かしてもらおうと取り組んだものです。各支部では、「願いプロジェクト」の主旨を話し合う中で、様々な要求を上げてもらいました。集められた要求は、整理・まとめました。

その概要としては、やはり全教・道教組の考えは、教育面、生活面、平和の問題など、当然と言えば当然ですが、私たちの要求に沿ったものだという事です。改めて、全教・道教組に集まっていることの確かさを確認することができました。

これからの日本の将来を大きく左右しない参議院議員選挙が六月二二日、公示されます。投票日は七月一〇日となっています。もしも改憲勢力が三分の二以上の議席を取ると、憲法改正の発議が可能となる状態となってしまう。また、与党が過半数割れに追い込まれると、アベ政治の暴走にストップを掛けることができます。

野党問わず出されるところで、野党の実現などは、共産党の公約の中で明確に表現されていました。また、平和や憲法改正の面では、公明党の公約の中に具体的な既述は見られませんが、与野党でははつきりと、分かれていくように見えます。憲法を守り、安保関連法の廃止を主張しているのは、民進党、共産党などの野党

私たちの願いを叶えてくれるのは? 願いプロジェクトの取り組み

網走ほんりゅう組

第434号
網走教職員組合
〒090-0052
北海道北見市北進町4丁目5-31
TEL 0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
ab-ky@forest.ocn.ne.jp
6月21日

熊本震災に主任手当を

4月14・16日の熊本震災に向けて、全教から支援カンパの要請がありました。

網走教組では、支部代での論議の中で、網走教組で保管している主任手当からもカンパしていこうという話になり、主任手当20万円をカンパすることに決定しました。

カンパ総額
20万9,706円

オホーツク まなびバ 第45回



5月28日(土)、第45回「まなびバ」が北見西小で行われました。参加者は、4人と少なかったですが、日々の実践や学級づくりについて交流することができました。

今回の『まなびバ』では、勝田先生、若狭先生、大坪先生のレポートを元に、日々の実践や学級作りについてじっくり話し合うことができました。

その中で大坪先生には、特別支援学級に在籍しているY君の、シールからシールへと線を引いて直線を書く練習や、それを応用した書写の練習についての実践を紹介していただきました。そのお話を聞いて、その子に合った適切な指導をしていけば、子どもの力はどんどん伸びていくのだということを改めて感じました。私も大坪先生のように子どもたちとしっかりと向き合い、その子に今必要なことは何なのかをよく見極めながら、課題を与えたり声をかけたりしていきたいと思いました。

午後からは、自分の職場で相談してもすっきりしなかった生徒指導の問題について、3人の先生方から意見をいただくことができ大変勉強になりました。次回の『まなびバ』には、レポート持参で参加したいと思



(遠軽南小 小林 杏樹)